

平成25年度 夏季企画展

難波 なにわ より

京 きょう に至る

大道 だいどう を置く

平成25年7月13日 土
～ 9月8日 日

あなたの知っている推古二十一年の「大道」は、
間違っているかもしれない。

入館無料

柏原市立歴史資料館

9:30～16:30 月曜休館



住友銅吹所跡 舟形木製品
写真提供：大阪文化財研究所

『日本書紀』には、推古天皇 21 年 (613)、「難波より京に至る大道を置く」とあり、今からちょうど 1,400 年前、当時の港・難波津 (大阪市中央区あたり) と、宮殿のあった飛鳥 (奈良県明日香村) を結ぶ道路が造られたことを記しています。

この道路は、大阪市中央区にある難波宮跡からまっすぐ南にのびる道路 (「難波大道」) と、堺市から奈良県葛城市にかけて東西にのびる竹内街道 (「たけのうちかいどう」) を通って、飛鳥に至るルートが「通説」として知られています。

今回の企画展では、このルートではなく、最近の発掘調査や研究をもとにした「渋河道」 (「しぶかわみち」) ～「竜田道」 (「たつたみち」) ～「太子道」 (「たいしみち」) という別のルートに注目しています。道沿いにある古代寺院や遺跡、ルートの中継点に位置する柏原市の様子から、推古 21 年の「大道」の実像に迫っていきたいと思います。

果たしてこの「大道」は、どこを通過していたのでしょうか。展示を通して、みなさんも一緒に考えてみてください。

■ イベントスケジュール

会場：歴史資料館 3 階 研修室
(申込み不要、参加費無料)

● 文化財講演会 (定員 90 名)

7/20 (土) 午後 1:00 ~ 4:00

三宮昌弘氏 (大阪府文化財センター)
「「難波大道」の調査と
歴史的位置付け」

阪田育功氏 (大阪府教育委員会)
「南河内における
斜方位直線道路と地割」

7/27 (土) 午後 1:00 ~ 4:00

安村俊史 (当歴史資料館 館長)
「推古 21 年設置の大道」

鷺森浩幸氏 (帝塚山大学 教授)
「上宮王家の歴史とその所領」

● 市民歴史大学 (定員 100 名)

テーマ『万葉人の時代』

8/17 (土) 午後 1:30 ~ 3:00

上野 誠氏 (奈良大学 教授)
「万葉集の聖徳太子」

9/7 (土) 午後 1:30 ~ 3:00

村田正博氏 (大阪市立大学大学院 教授)
「ことばの深みへ
— 人麻呂の表現とその工夫 —」

< 主な展示品 >

住友銅吹所跡 - 舟形木製品

大坂城跡 - 軒丸瓦

四天王寺 - 軒丸・軒平瓦

久宝寺遺跡 - 三彩土器、土師器

渋川廃寺 - 軒丸瓦、文字瓦、鴟尾

船橋廃寺 - 軒丸瓦

高井田遺跡 - 土師器、須恵器

斑鳩寺 - 軒丸・軒平瓦、壁画片

保津・宮古遺跡 - 土馬、須恵器

雷丘東方遺跡 - 墨書土器

「大道」周辺地形模型
(柏原市民歴史クラブ製作)
ほか

おほりだのみや
雷丘東方遺跡 「小治田宮」 墨書土器
写真提供：明日香村教育委員会



柏原市立歴史資料館

入館無料 9:30 ~ 16:30 月曜休館

大阪府柏原市高井田 1598-1

TEL:072-976-3430

JR 関西本線 高井田駅から徒歩 5 分
近鉄大阪線 河内国分駅から徒歩 15 分

